

【特集】第31回国際労働問題シンポジウム： 持続可能な開発目標（SDGs）とディーセン ト・ワーク：特集にあたって

FUJIWARA, Chisa / 藤原, 千沙

(出版者 / Publisher)

法政大学大原社会問題研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

大原社会問題研究所雑誌 / Journal of Ohara Institute for Social Research

(巻 / Volume)

726

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

1

(発行年 / Year)

2019-04-01

持続可能な開発目標(SDGs)とディーセント・ワーク

特集にあたって

本特集は第31回国際労働問題シンポジウムの記録である。1987年から毎年行っている本シンポジウムは、原則としてその年のILO総会の議題のなかから日本との関係でとくに重要な議題をテーマとして取り上げてきた。今回は2018年6月に開かれた第107回ILO総会の議題のうち、第4議題「持続可能な開発目標(SDGs)を支えるILOの開発協力」をテーマに開催した。シンポジウムの第1部では、ILOの開発協力とSDGsに関して政労使からお話をいただき、第2部では、学識経験者と専門家から「ディーセント・ワークとSDGs」の課題についてご講演をいただいた後、フロアからの発言も含めてディスカッションを行った。

本シンポジウムは2003年からILO駐日事務所と共催で開催しており、今年開催にあたって、アフリカ開発援助会議(TICAD)準備会合のために来日されたILO本部事務局上級顧問・妹尾吉洋氏よりご挨拶をいただいた。また今年には日本ILO協議会だけでなく外務省からもご後援をいただき、参加者100人を集めた充実したシンポジウムとなった。記して感謝申し上げる。

(藤原 千沙)

第31回国際労働問題シンポジウム

持続可能な開発目標(SDGs)とディーセント・ワーク

主催	法政大学大原社会問題研究所／ILO駐日事務所	日時	2018年10月4日(木)14時～17時15分
後援	日本ILO協議会／外務省	会場	法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー(スカイホール)

プログラム

■第1部 2018年第107回ILO総会第4議題「持続可能な開発目標(SDGs)を支えるILOの開発協力」について
第107回ILO総会の概要 ILO駐日事務所駐日代表 田口晶子
政府の立場から 厚生労働省大臣官房国際課国際労働・協力室長補佐 井上栄貴
労働者の立場から 連合国際局次長 伊古田隆一
使用者の立場から 経団連労働法制本部主席主幹 森田清隆

■第2部 学識経験者／専門家による講演およびディスカッション
「アジアにおける開発と労働——グローバル市民社会の視点から」 法政大学社会学部教授 吉村真子
「ミャンマーにおけるSDGs実現に向けた取り組みの実態と問題点」
前ITUCミャンマー事務所長／元ILO理事 中嶋 滋
「アフリカの若者が主体になるSDGsに向けた取り組み——ケニア・ソマリア・ガンビアでの事例」
宮崎大学工学部准教授／NPO法人道普請人(みちぶしんびと)理事 福林良典
(司会 法政大学大原社会問題研究所副所長／社会学部教授 鈴木宗徳)

(注) 肩書は2018年10月現在